

令和4年度 維持管理状況(11月1日～30日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名	焼却能力	炉番号	処分した 一般廃 棄物	ごみ焼却量	燃焼室ガス温度	集じん器 入口ガス温度	排ガス中の 一酸化炭素濃度 (煙突) (O ₂ 12%換算)	冷却設備及 び排ガス処 理設備に堆 積したばい じんの除 去	
	t/日			t	℃	℃	ppm		
有明	400	1号炉	可	5,566.31	950 ~ 1,100	172 ~ 174	1~29	ボイラ設備の除じんはボイラストロブロー又はボイラ槌打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。	
		2号炉		1,689.05	1,027 ~ 1,164	171 ~ 175	4~12		
千歳	600	1号炉		定期点検補修					
墨田	600	1号炉		13,536.34	996 ~ 1,162	161 ~ 172	0~2		
北	600	1号炉		5,805.18	981 ~ 1,166	154 ~ 159	1~24		
新江東	1,800	1号炉		13,793.68	882 ~ 1,175	173 ~ 177	0~13		
		2号炉		14,406.79	873 ~ 1,143	174 ~ 179	1~44		
		3号炉		14,719.16	863 ~ 1,157	173 ~ 177	0~6		
港	900	1号炉		焼却炉立上げ中					
		2号炉		288.22					
		3号炉		7,417.41	1,089 ~ 1,346	167 ~ 170	1~54		
豊島	400	1号炉		3,350.71	1,083 ~ 1,277	155 ~ 167	1~123*②		
		2号炉		2,667.41	852 ~ 914	162 ~ 163	3~33		
渋谷	200	1号炉		2,868.00	871 ~ 924	160 ~ 161	1~50		
		2号炉		1,620.98	869 ~ 967	145 ~ 155	0~180*①		
中央	600	1号炉		4,552.89	951 ~ 1,109	153 ~ 157	3~17		
		2号炉		6,448.09	942 ~ 1,073	149 ~ 152	0~25		
板橋	600	1号炉		6,965.28	983 ~ 1,211	157 ~ 162	0~11		
		2号炉		5,098.19	939 ~ 1,223	157 ~ 163	0~73		
多摩川	300	1号炉		1,423.28	919 ~ 990	155	0~1		
		2号炉	2,937.74	906 ~ 990	155	0			
足立	700	1号炉	411.65	909 ~ 980	172 ~ 176	1~2			
		2号炉	261.85	908 ~ 990	172	3~10			
品川	600	1号炉	7,213.81	926 ~ 1,061	174 ~ 176	0~14			
		2号炉	7,098.64	892 ~ 1,019	174 ~ 176	0~42			
葛飾	500	1号炉	3,219.16	1,023 ~ 1,114	118 ~ 173	0~33			
		2号炉	3,388.28	1,013 ~ 1,124	148 ~ 168	2~15			
世田谷	300	1号炉	4,157.93	863 ~ 1,011	176 ~ 183	0~100			
		2号炉	4,199.97	889 ~ 1,014	176 ~ 188	0~75			
大田	新	1号炉	5,942.66	865 ~ 1,105	149 ~ 169	3~54			
		2号炉	8,693.02	861 ~ 1,102	153 ~ 171	2~40			
	第一	1号炉	焼却炉停止中						
2号炉		2,996.32	846 ~ 941	165	4~24				
3号炉		711.77	884 ~ 970	165	2~8				
練馬	500	1号炉	4,490.88	899 ~ 1,020	157 ~ 171	1~19			
		2号炉	定期点検補修						
杉並	600	1号炉	8,446.68	904 ~ 1,013	157 ~ 166	0~28			
		2号炉	8,363.57	918 ~ 1,002	155 ~ 162	0~11			
光が丘	300	1号炉	4,321.95	902 ~ 1,064	154 ~ 172	3~22			
		2号炉	4,316.63	926 ~ 1,054	154 ~ 173	4~19			

注: 大田清掃工場 第一工場1、2号炉は11月12日に再稼働工事がしゅん工しました。中防灰溶融施設、破砕ごみ処理施設は休止しています。

測定値が維持管理計画値を超過した理由(※)

<逸脱理由>

※① 渋谷清掃工場 1号炉

令和4年11月9日(水) 10:00(180ppm)、16:00(78ppm)

令和4年11月10日(木) 9:00(137ppm)、11:00(82ppm)、13:00(177ppm)、16:00(77ppm)、23:00(102ppm)

令和4年11月11日(金) 3:00(70ppm)、7:00(63ppm)、11:00(92ppm)、15:00(116ppm)、18:00(75ppm)、23:00(135ppm)

令和4年11月12日(土) 1:00(94ppm)、3:00(126ppm)、15:00(63ppm)、18:00(116ppm)、20:00(74ppm)、22:00(103ppm)

令和4年11月13日(日) 1:00(65ppm)、3:00(73ppm)、10:00(66ppm)、13:00(107ppm)、15:00(67ppm)、24:00(83ppm)

排ガス中の一酸化炭素濃度が、一時間平均値で上記時間ごとに()内の数値を記録した。

燃焼が不安定となり、一時的に燃焼空気が不足したことによる。

その都度、再燃、助燃バーナの使用及び燃焼空気量の調整等により、燃焼の安定化を図り、一時的に燃焼が安定した。しかし、正常な燃焼状態に回復しなかったため、調査のため焼却炉を立ち下げた。

※② 港清掃工場 3号炉 令和4年11月20日(日)15:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が一時間平均値で123ppmを記録した。

一時的に焼却炉へのごみ供給量が多くなったため、炉内への燃焼空気の供給バランスが崩れ、燃焼が不安定になったことによる。

助燃バーナの使用、フィーダ、ストーカ及び燃焼空気量の調整等により、燃焼の安定化を図った。その後は燃焼が安定した。

令和4年度 維持管理状況(11月1日～30日)<工場設置計器の測定結果>より